

学校評価アンケート結果について

早春の候、保護者の皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、先般は保護者の皆様にはご多用中にもかかわらず、学校評価に関するアンケートにご協力いただきありがとうございました。保護者の皆様方にアンケートの集計結果の概要をお知らせしますとともに、教職員の自己評価につきましてもその概要をお知らせします。なお、明確になった教育課題につきましては、今後の教育活動に成果をあげられるよう、よりよい学校づくりにつなげていきたいと考えております。今後とも、ご協力・ご支援をいただきますようよろしくお願いいたします。

令和5年度 学校評価アンケート【保護者】 回答数 58

☆評価の高い項目
(そう思う、だいたい
そう思うの項目が90%
超えている)

- 学校の教育活動の目標やねらいが伝えられている。
- お子さんは、楽しく学校生活を送っている。
- お子さんは、学校で友達と仲良くすごしている。
- 学校は、子どもの人権を大切にし人権教育に積極的に取り組んでいる。
- 学校は、いじめのない学校づくりをめざし、早期発見に努め、組織的に対応している。
- 学校は、お子さんの能力や努力を適正・公平に評価してくれている。
- 学校は、体験したり、自分で考えたりする授業を行っている。
- 学校は、お子さんの体力向上に向けた取組を行っている。
- 学校は、子ども同士の問題や悩みなどに親身に対応している。
- 学校は、保護者の相談や学校への要望などに親身に対応している。
- 学校は、開かれた学校づくりに努めている。
- 学校は、HPや学校だより等で取組みを伝えている。
- 学校は、地域の人材や施設を活用して学習に取り組んでいる。
- 学校は、自然災害等緊急時への対応について指導連絡ができています。

☆評価の低い項目
(あまり思わない、全
く思わないの項目が20
%を超えている)

- お子さんは、進んで読書をしている。

アンケート結果の考察 【保護者】

「そう思う」「だいたいそう思う」をあわせると、いずれもが90%以上という数値が14項目でした。昨年度より1項目増えています。このことから多くの保護者は、学校生活において子どもたちは、楽しく有意義な学校生活を送っていると感じてくださっているようです。また、お便りやホームページ等による情報発信をしっかりと受けとめてくださり、小学校生活での教育成果を感じ取ってくださっているようです。

「あまり思わない」「全く思わない」のポイントが20%を超えた項目は上記の1項目です。昨年度より1項目減っています。しかし、昨年に引き続き「読書活動」については50%を超える低い評価となっていることは、学習指導方法や環境づくりの改善・充実を図る必要があると考えられます。

【児童】

保護者アンケートの結果と同じように「進んで読書をしている」が、下学年では20%、上学年では50%を超えて低い評価となっています。読書習慣の定着は、学力の向上に大きく影響してきます。音読や週末読書、町立図書館からの図書の貸出し等、今後も取組みを継続していきますのでご協力をよろしくお願いいたします。

【教職員】

昨年に引き続き、「読書の習慣」「自分の考えや意見を伝える力」に課題を感じています。また、今年度新たに「規則正しい生活」も課題として浮かび上がってきました。コロナ禍を経て生活様式が変化していく中で、意見を伝え合う場や人と関わる機会が増えたことにより新たな課題が明らかになってきました。全教職員で柔軟に受けとめ、教育活動の改善をより強力に進めていきたいと考えています。今後とも、保護者の皆様のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。